

第2回 母子健康手帳等に関する意見を聴く会

親子健康手帳から始まる 子育て支援



すべての親子が健やかに成長できる地域づくりを目指して
～ *No One Left Behind* ～

岡本弥生
(愛知県 小牧市)

親子健康手帳作成の経緯



小牧市母子保健推進協議会

(平成9年度～) 4回/年

【目的】

小牧市の親子が健やかに成長できる地域づくりを目指し、親子を支援する関係機関がお互いの役割を明確にして連携を図り、親子を取り巻く問題を共有して解決に向けた方策を考え実践していく。

小牧市が目指す親子の姿



豊かな心を育み合う小牧の親子

～命を大切にし、地域とのつながりの中で～

小牧市の母子保健事業の大きな柱

= **自己肯定感の醸成**

目まぐるしく変化する社会の中で親子が生き生きと生活していくためには、様々な困難を乗り越える「**力**」が必要であり、この力の根底にある「**自己肯定感**」が必要である。

母子保健推進協議会委員名簿（平成9年度当時）

団体機関等	職名
医師会の代表	小児科医
歯科医師会の代表	小児歯科医
教育関係者	指導主事 養護教諭
保育関係者	指導保育士 児童センター長 家庭児童相談員
行政機関の代表者	保健所 地域保健課長補佐 生涯学習課長 児童課長 保健センター所長
その他必要と認める者	臨床心理士 主任児童委員 助産師

ある委員の一言から...



「首すわりや一人歩きなどの時期を記録する母子健康手帳は親を不安にさせる」



「**親の力になる**」 母子健康手帳の作成に着手
母子手帳作成部会を立ち上げる
(メンバーは保健師、助産師、保育士、養護教諭)

小牧市独自の母子健康手帳の役割

(部会の中で出た意見)



1. お父さんお母さんの愛情の記録と子どもの成長の記録がつまった最高の宝物として、子どもにプレゼントできるもの
2. 母子手帳を見ることで不安が解消されたりどうしたら良いかが伝わるもの
3. 中学校を卒業するまでの愛情の記録と子どもの成長の記録となり、親と子どもで完成させるもの
4. その時その時のわが子へのメッセージを記すことができるもの、愛情を持って育ててくれたことが子どもに伝わるもの

小牧市独自の母子健康手帳の役割

(部会の中で出た意見)



5. その月齢、その年齢の子どもの姿がトータル的に
ぽんやりとでもイメージできるもの
6. 母子手帳を読んでもらうことにより自然に父親・
母親の気持ちになれるもの
7. その年齢の子どものにどう接したらよいかわかるもの
8. 父親が母親を支えていくことがどんなに大切かわか
るもの（言葉、態度、行動など）
9. 読むだけであたたかいものが伝わるもの
10. 子どもの育ちとともに母親の育ちになるもの

各年齢ごとの母親・父親の役割と 母子健康手帳の役割

時期	父親・母親の役割	母子健康手帳の役割
妊娠中	・お腹の子どもへ話しかける	・胎児の育ちや母体の変化を示す ・母親への愛情の大切さを示す
出産	・出産の感動の気持ちを記す ・命名への思いを記す ・写真を貼る、手形足形を残す	・気持ちを記すスペースや写真を貼れることにより出産時を振り返ることができる
乳幼児期	・お父さん、お母さんから成長に合わせてメッセージ ・予防接種や病気の記録	・成長に合わせて子どものイメージができる ・子どもの気持ちが伝わる
学童期 思春期	・お父さん、お母さんから成長に合わせてメッセージ ・健康手帳の記録を転記 ・予防接種や病気の記録	・両親への子どもの思いを子どもに見てもらふ ・読み返し子どもの成長を見守る
20歳	・親子で作上げた母子手帳を最高の宝物として子どもにプレゼントする	8

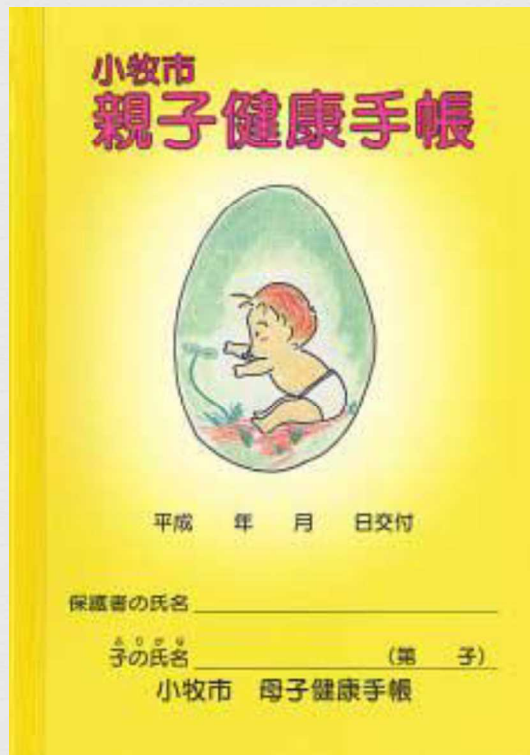
小牧市親子健康手帳

平成11年度以降、毎年改訂を重ねて現在に至る



平成11年6月～

(平成15年度に「親子健康手帳」と名称変更)



平成28年6月～



3～4か月の頃

いろいろな表情の赤ちゃん
育児にも少し余裕ができましたか？

赤ちゃんが一生懸命おっぱいやミルクを飲んでいる姿、うれしそうに笑ったりススヤ気持ちよさそうに寝ている寝顔。いろいろな表情が出てきました。「おっぱいやミルクを飲んで大きくなるよ！」って言っているみたいですね。おいしいおっぱいやミルクを飲んでいる時は、テレビを見たり携帯電話・メールをしたりするのは…ちょっとガマン。言葉は分かりませんが、「おいしいね。」などと声をかけてあげましょう。お父さん・お母さんが笑顔で話しかけてあげると「ママ・パパがこっちを見ていてくれる！」ってうれしく感じるでしょう。



ゴクゴク
ゴクゴク

※4か月児健診を保健センターで受けましょう。
※お母さんのお口の中のむし菌菌が
お子さんにうつることもあります。4か月児健診と同時に実施するお母さんの歯科健診でお口の中をチェックしましょう。
※あやしたり、遊んであげたりしているつもりでも激しく揺さぶってしまうと、「揺さぶられ症候群」になる可能性がありますので気をつけましょう。
お兄ちゃん・お姉ちゃんがお父さん・お母さんのまねをして、赤ちゃんを揺さぶってしまうかもしれません。必ず大人と一緒に関わるようにしましょう。（乳幼児揺さぶられ症候群 107ページ参照）

お父さん・お母さんからのメ...

離乳食

まずは

(120ページ)

離乳食は家族で食卓を囲って家族団らんを深める

（離乳食はなぜ大切な

- 味覚が発達し、食
- やがて自分で食べ
- 一歩になる
- 食べることが「楽し
- 大人が食べている食
- ようになる

（こんな様子がみえてきた

食べているところをじつと見ていたり、口をもぐもぐする

- ・ お酒・タバコはやめましょう。
- ・ お薬は医師に確認しましょう。
- ・ 出血や腹痛があった時は、受診しましょう。

—— お父さん、お母さんからのメッセージ ——

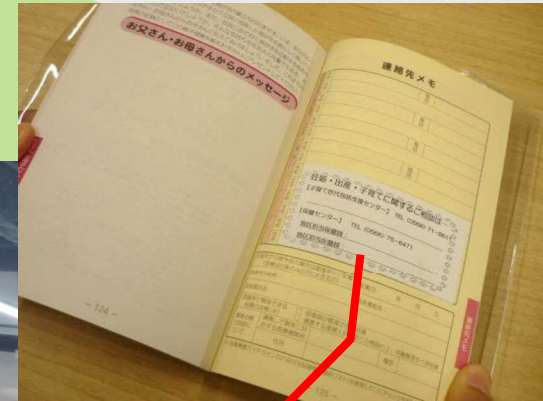
お腹の中に 新しい生命が 芽生えていると わかった時には
涙が出るほど うれしかったです。 無事に生まれてきてくれる
ことだけを 願っています。 私達のもとに 来てくれて 本当に
ありがとう。 これから一緒に成長していこうね。

授かる、というのには神秘的なものです。入院するといくアクシデントもあり、
お母さんは本当に不安な中頑張っています。明日を育むために。小さく、何よりも
大きな命を守ります。

親子健康手帳交付時健康相談（個別交付）

小牧市における親子健康手帳交付

於：子育て世代包括支援センター
一体型 母子保健型（直営）+基本型（直営）



親子健康手帳の最終ページに
「親子健康手帳を交付した保健師」と
「地区担当保健師」の氏名を記載

★サポートプランで、今後の支援方針や使える社会資源を説明しながら交付。

★サポートプランにも「親子健康手帳を交付した保健師」と「地区担当保健師」の氏名を記載。

妊娠届出時アンケートをもとに相談
& アセスメントを行うとともに、
親子健康手帳にこめた思いと活用の
仕方を保健師が説明。

MOTTAINAI！！
親子健康手帳を活用しよう！



母子健康手帳は誰のものか

子育て支援の役割

「親子健康手帳を活用しよう！」

他事業、多職種との連携

～ 乳幼児健診／生と性のカリキュラム／1stアニバーサリー事業など ～



広報誌「広報こまき」で市民にも親子健康手帳について周知

親子(母子)健康手帳について解説します
問合先 保健センター ☎ 75 - 6471)

問合先 保健センター (☎ 75-6471)

ほな
どる

母と子の命を守るため
約70年前に誕生

[illegible]

小牧市の母子健康手帳「親子健康手帳」は健診記録に加えて、
親子を支える独自のページを作っています！

親子健康手帳

◆現在の母子健康手帳（母子健康手帳）
サイズ：記入しやすく持ち運びやすいB5サイズ
デザイン：子どもの健診に来たママたちにアンケートを行い、機能的デザイン庫から選択して決定

特徴その1

妊娠中から中学3年生まで使える
おなかに着く時から第2の誕生と思
われる思春期まで親子でともに作り上げ
ていけるようになっています。
※お子さんが成人を迎える時に成長の証
としてプレゼントしている保護者さ
まがいらっしゃいます。

特徴その3
アドバイスを掲載

お子さんの年齢のページを見ると、その
時期の子どもの姿とあわせて、大人からの
声かけの方法や食習慣や生活面で気を付け
ることなど、日常生活の参考になるアドバ
イスが書かれています。

前記のほかにも、事故予防、児童手当、子育て支援に関する制度、各種相談の案内なども掲載されています。

特徴その2

メッセージ記入欄がある
お子さんが成長していく中で「両親から愛されて育てられた」と感じ、自分のことが大好きで周囲の人にも思いやりのある尊敬される人になることを願って、妊娠中から各月齢（年齢）ごとに、中学3年生までお子さんの成長とともに書きけるメッセージシートが添付されます。

夏休み、お子さんと一緒に開いてみませんか？

小牧の親子(母子)健康手帳、ウチではこんなふうに活用してます！

法蘭西の山手町の浮世文化

親子健康手帳は子どもとの
コミュニケーションの大切
なツールです！



市内在住太田さんと中2の男久くん
小3の園広くん

日本中から母子健康手帳に関わる専門職が集うフォーラムが小牧で開催されました。

7月1日に「第2回母子手帳フォーラム」が市役所で開催され、80人が参加しました。

このフォーラムは、歴史的に開かれ、80人が参加しました。このフォーラムは、歴史的に開かれ、80人が参加しました。このフォーラムは、歴史的に開かれ、80人が参加しました。

伝えたい！親子(母子)健康手帳への想い

小牧周の母子愛は世界に1つの宝物です

[illegible]

これからの母子健康手帳に期待すること



★母子健康手帳本来の機能

- ①妊産婦及び乳幼児の健康を管理し、必要な保健医療や支援に結び付ける
- ②当事者の健康管理を促す手段としての機能

★プラスαの機能で母子健康手帳に付加価値を！

- ①親と子の自己肯定感を育む役割
- ②医療従事者や母子保健関係者だけでなく、子育て支援関係者、教育関係者等も手に取り多様な支援に結び付ける役割
- ③様々な生まれや育ちの子どもたち（低体重児、多胎児、障がい児など）にも対応できる役割も求められている（サブブックで対応するのもひとつ）。

今後の母子保健を考える



➤ 乳幼児健診、妊婦健診のデータベース化

- ・情報の共有やビッグデータの活用が期待される一方で...
- ・データ化できない保健師等の気づき、カンなどをどのように残していくか。（個別の支援をする際に最も必要な情報）

➤ 集団健診から個別健診への流れ

- ・自治体の規模や出生数、医療機関の有無など各自治体の状況にもよるが、ある程度の条件が整った自治体においては、個別健診化により業務の効率化や市民の利便性が高くなることが予測される。
- ・個別健診化により、育児面や母親の精神面、家庭内の問題、社会的要因に関する視点が取り残されていないか。
- ・個別健診化により健診そのものの負担は軽くなっても、その後の支援がつながりにくくならないか。